

(3) 昭和48年度

- ① 音楽・図工・体育科の3教科全領域
- ② 6学年を対象とした、理科の複数教師による授業研究を試みる。

(4) 昭和49年度

- ① 音楽、体育科の異学年合併授業
- ② 理科の一部複数教師による授業
(高学年団)

3. 教授組織とその運営

(1) 教授組織の基本方針

職員数や教師の特性・協力教授の有効性などを考慮し、学年・教科・内容などは、次のように選択し、協力教授を実施する。

- ① 全学年を対象に、音楽、体育科における全領域について、協力教授を実施する。ただし第1学年の第1学期は除くことにする。
- ② 第6学年理科の一部複数授業を実施する。
- ③ 全職員の共通理解に立った協力的態勢を強化する。
- ④ 教授の役割分担、学年団経営のあり方を適切に行い、効率的な運営をする。
- ⑤ 協力教授活動の母体を学年団におき、組織的・計画的な教授活動をすすめる。
- ⑥ 教授形態は 少人数学級の特性から、近接2学年を合併し、指導者は2名とする。
- ⑦ 学習集団の編成は、教材の特性、能力などに応じ機能化をはかる。

(2) 運営の方針

運営にあたっては、指導の効率を高める観点から、教師の特性を生かし、役割分担、活動のあり方について明確化をはかる。

- ① 計画の立案においては、主となる教師(T₁)、副となる教師(T₂)との連絡、

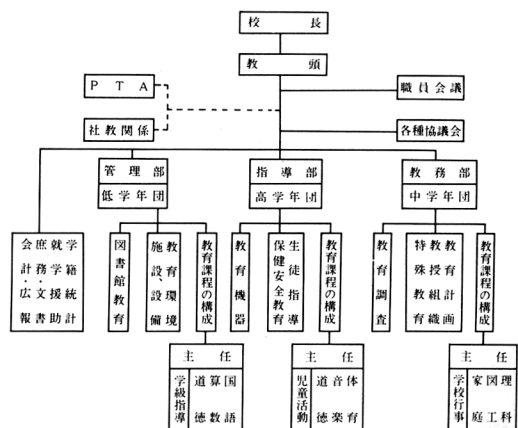
協議を密にする。

- ② 教授活動においては、相互協力のもとに、T₁・T₂の目的的な活動を適切にする。
- ③ 教材内容・既有経験・能力等に応じ、適正な学習集団を編成する。
- ④ 事後において、児童の変容に考察を加え、指導の反省、改善につとめる。

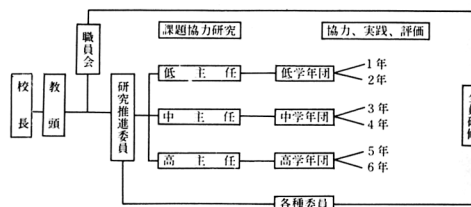
(3) 運営の実際

教務・指導・管理などの業務を、それぞれの学年団で分担し合い、教授組織・運営組織・事務組織の一体化をはかっている。

① 学校経営組織(学校経営組織図)



② 教授組織図



③ 学年団の業務

学年団は、学校経営と学級経営の中間的組織体として、相互の連絡、調整をはたすとともに教授組織を支えている。その主な業務は次のとおりである。

ア 運営・管理

(ア) 学年団の経営目標・方針・経営計